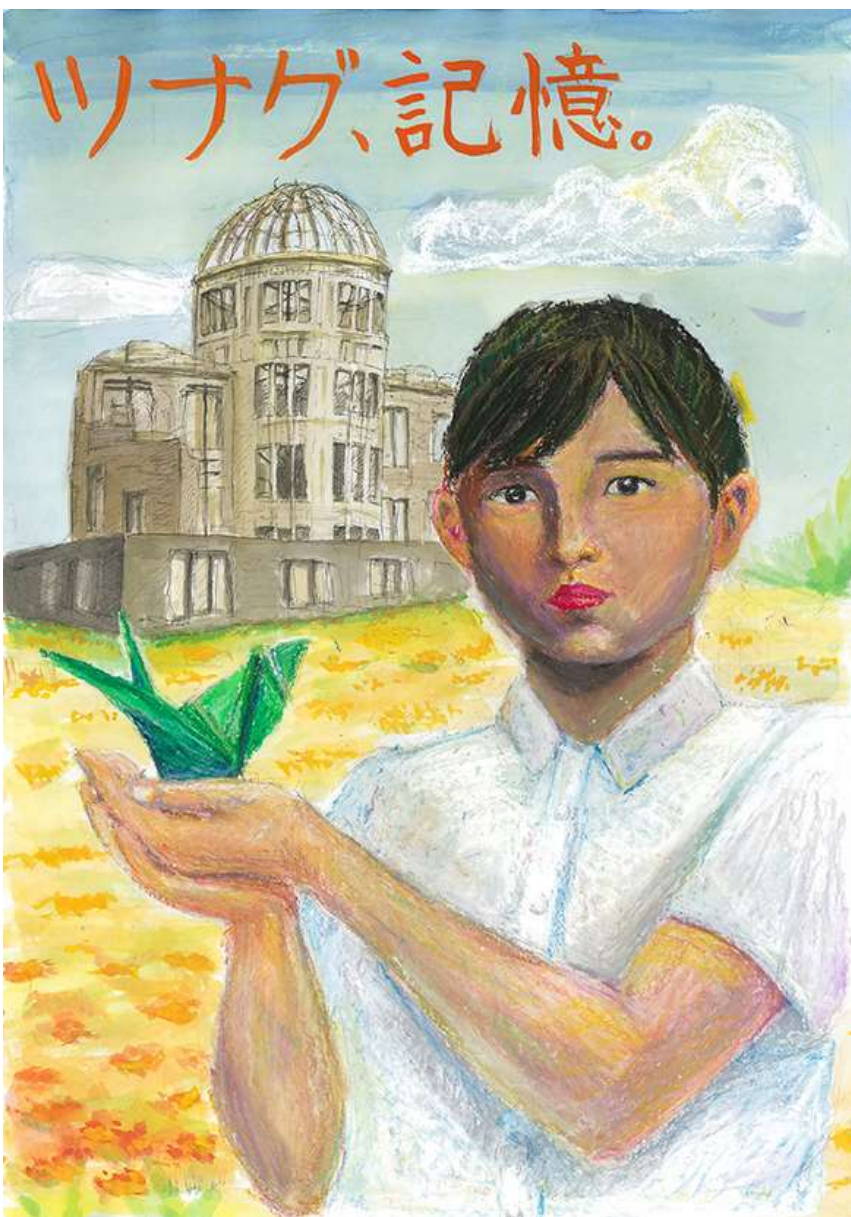


令和7年度 平和ポスターコンテスト

入選作品 中学校の部

平和意識の普及啓発を目的として、市内在住・在学の小中学生を対象に、平和をテーマとしたポスターを募集し、中学校の部 90 作品の応募がありました。

その中から、入選作品中学校の部 16 作品をご紹介します



「ツナグ、記憶。」

上溝中学校 1年 久保田 悠楠

〈作品への思い〉

今年は戦後80年の年です。当時者としてあの悲劇を語れる人が減ってきています。この記憶を繋ぐことが私達若い世代の責任だという思いで今回この作品を描きました。描く時にはこの責任感を感じ取れる人物の表情を表現すること、題名はインパクトを与えるためあえて「ツナグ」とカタカナにするなど工夫しました。



「平和の鳥」

小山中学校 3年 茶屋田 菜未

〈作品への思い〉

作品全体に、地球とリボン・平和のシンボルの鳩を書きこみ、平和への思いをこめた。また、地球をリボンで囲うことによって地球全体の平和への願いを表した。



「核のスイッチ押させない」

小山中学校 3年 菊池 官俣

〈作品への思い〉

この絵では、平和や核兵器廃絶の思いを込めた。核兵器のスイッチが押された後か押される前かが別れる左右を明暗で変えることで、核兵器の恐ろしさや平和の尊さを表現した。核のスイッチが押されていない右側はハートの大陸や平和の象徴であるハトを描き、核のスイッチが押された左側は地球に亀裂が入っていたり、血が滴り落ちていたりする様子を描き、核による世界の違いを表した。



「 過ちを繰り返すな 」

小山中学校 3年 増田 貴臣
〈作品への思い〉

私たちが今、生きているのは過去に5000万～8000万人の兵隊さんや住民たちの死によって、平和が実現されているから。だからこそ、彼らが残してくれた平和な世の中を壊してはならない。戦争という過ちを繰り返してはならない。そんな思いを込めてつくりました。この絵を見てくれた人々に平和の尊さを改めて知ってくれるよう願っています。



「現実のこと」

鶴野森中学校 3年 春日井 瑛太

〈作品への思い〉

第二次世界大戦の終戦から80年、
その歴史を忘れないということも大切
ですが、今も世界で起きている戦争、
紛争にも目を向けて欲しいという思
いでこの作品を描きました。



「 平 和 」

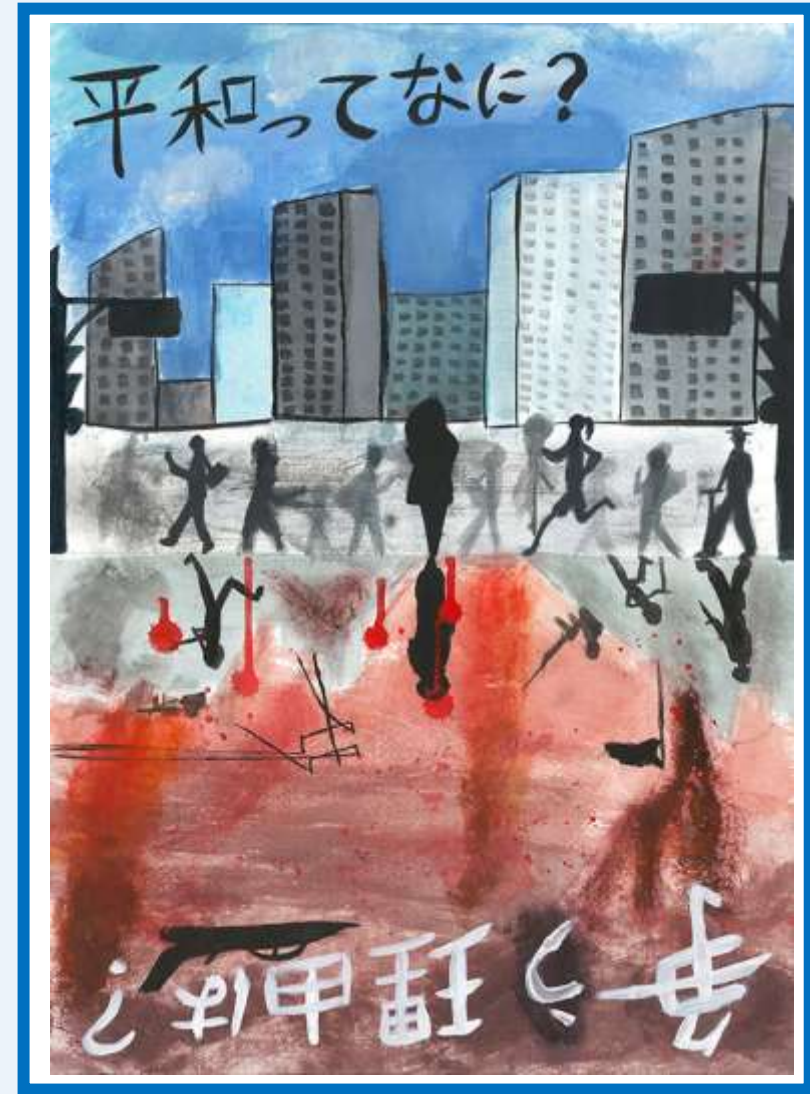
鵜野森中学校 3年 根本 尊仁

〈作品への思い〉

戦後80年で、戦争を経験された方々が減る中、本当の平和とは何なのかを考えてもらいたく、この作品を描きました。また、平和に関連するものをたくさん詰めこんで平和を表現しました。



「核兵器をなくそう」
小山中学校 3年 深瀬 亜美



「平和ってなに？ 争う理由は？」
小山中学校 3年 秋本 紗希



「折り鶴」

小山中学校 3年 中村 心南



「核兵器の恐ろしさ」

小山中学校 3年 志治 宏哉



「 もとの形には戻せない 」
小山中学校 3年 井上 歩郁



「 今こそP E A C Eをはめるとき 」
小山中学校 3年 内糸 杏



「武器を持たなくていいように」
鵜野森中学校 3年 小野 雛子



「どちらか」
鵜野森中学校 3年 和田 周真



「知らない現実」

鵜野森中学校 3年 山城 秋青



「花も、虫も、魚も、この星も。」

鵜野森中学校 3年 九嶋 梨緒

令和7年度 平和ポスターコンテスト

入選作品 小学校の部

平和意識の普及啓発を目的として、市内在住・在学の小中学生を対象に、平和をテーマとしたポスターを募集し、小学生の部79作品の応募がありました。

その中から、入選作品小学校の部16作品をご紹介します



「 平和な未来へ 」

小山小学校 6年 高師 慶樹

〈作品への思い〉

今は、戦争がつづいているので未来は平和であるようにとこめました。未来は希望しかない、つまり平和を願ってほしいです。



「おなじ空でもちがう世界」

相原小学校 2年 太田 青那

〈作品への思い〉

同じ火やくでも、ちがう使いかたをしていて、平和な場所は、にこにこして花火が上がる空を見れるけど、戦争をしている場所は、ばくだんを気にして空を見るから、かなしい顔になる。ぼくは世界中に平和になってほしい。



「戦争は過酷」

富士見小学校 6年 武士 琴音

〈作品への思い〉

この作品は、戦争の恐ろしさ、残酷さ、人々が思った気持ちを中心にかきました。まだ戦争のことを知らない人など、後世に戦争の恐ろしさを伝えたいので、真ん中に少女をかきました。この作品を観て「戦争は恐ろしいんだ」と思っ
てほしいです。



「あたり前に笑える毎日を」

清新小学校 4年 清 世里香

〈作品への思い〉

世界中のみんながあたり前に笑ってく
らせることを願って書きました。



「差別のない助け合える世界」

向陽小学校 4年 大野 結愛

〈作品への想い〉

戦争をなくすためには、人と人が争わず助け合うことが必要です。人種差別をせずに、やさしい心をもつことで平等で平和になってほしいです。人が人をこうげきして、人が死ぬ世界がなくなりますように。動物も花も全ての生き物も。



「 幸せはあたりまえではない 」

小山小学校 4年 村田 綜次郎

〈作品への思い〉

戦争になったら戦いたくない人も戦争に行かないといけなくなったり友だちや家族が死んでしまうので、戦争はとても悲しいと思います。全ての国で戦争をしてほしくないという思いをこめました。



「 平和をつなぐ 」
富士見小学校 6年 水口 泰地



「 未来を変えよう 」
星が丘小学校 5年 井上 祐人



「 We hope peace 」

向陽小学校 6年 大澤 杏奈



「 平和の意味 」

向陽小学校 6年 島田 茜里



「戦争はなにも生まない」
向陽小学校 4年 厩田 麻緒



「せんそうがなくなるように」
淵野辺小学校 1年 田口 祥太郎



「やさしいへいわロボット」

淵野辺小学校 1年 武藤 岳



「最後の笑顔」

谷口小学校 5年 垣内 渚咲



「世界を平和に」
谷口小学校 6年 名取 花連



「明るい未来へ」
小山小学校 5年 篠原 佳恵